

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L9: Entry 13 of 15

File: DWPI

Mar 10, 1995

DERWENT-ACC-NO: 1995-143296

DERWENT-WEEK: 199519

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Telephone set with call count display - incorporates controller to initiate count, counter clock and adder to record total number of calls during discounted tariff time period

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

NEC CORP

NIDE

PRIORITY-DATA: 1993JP-0214277 (August 30, 1993)

Search Selected

Search ALL

Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

☐ JP 07066909 A

March 10, 1995

005

H04M015/30

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP 07066909A

August 30, 1993

1993JP-0214277

INT-CL (IPC): H04M 15/30

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 07066909A

BASIC-ABSTRACT:

The telephone set consists of a controller (1), a counter (2), an adder (3) , a clock (5) and a display (4). The controller transmits and receives signals between the telephone set and the exchange. The counter is connected to the telephone set for recording the calls performed. The adder accumulates the calls counted during the discounted tariff time period based on the output of clock. The output of the adder is viewed on the display. By operating the set switch (41) , the call count reckoned at the standard rate is indicated on the display.

ADVANTAGE - Assists in optimum utilization of discount tariff during specified time periods.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: TELEPHONE SET CALL COUNT DISPLAY INCORPORATE CONTROL INITIATE COUNT
COUNTER CLOCK ADDER RECORD TOTAL NUMBER CALL DISCOUNT TARIFF TIME PERIOD

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L48: Entry 2 of 3

File: JPAB

Mar 10, 1995

PUB-NO: JP407066909A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07066909 A

TITLE: TELEPHONE SET WITH SPEECH FREQUENCY DISPLAY FUCTION

PUBN-DATE: March 10, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TODA, KENSUKE

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NEC CORP

APPL-NO: JP05214277

APPL-DATE: August 30, 1993

INT-CL (IPC): H04M 15/30; H04M 15/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To effectively utilize a monthly discount service to a time zone in which a speech charge is discounted.

CONSTITUTION: A clock means 5 outputs time information. A speech frequency adder 3 adds the speech frequency outputted from a measuring instrument 2 in a time zone in which a speech charge is discounted by a month unit. A display part 4 displays the speech frequency outputted from the speech frequency adder 3, and also, displays a reference speech frequency and an object limit by an operation of a set switch 41.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-66909

(43) 公開日 平成7年(1995)3月10日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 15/30	B			
15/00	Z			

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-214277

(22) 出願日 平成5年(1993)8月30日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 戸田 健輔

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

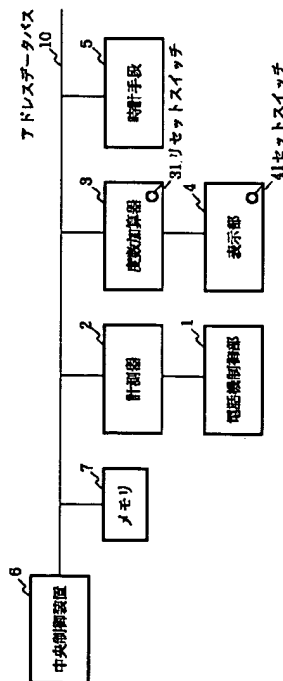
(74) 代理人 弁理士 井出 直孝

(54) 【発明の名称】 通話度数表示機能付電話機

(57) 【要約】

【目的】 通話料金の割引きのある時間帯に対する月極割引サービスを有効に利用できる。

【構成】 時計手段5は時刻情報を出力する。度数加算器3は通話料金の割引きのある時間帯における計測器2の出力する通話度数を月単位に加算する。表示部4は度数加算器3の出力する通話度数を表示し、またセットスイッチ41の操作により基準通話度数および対象限度を表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話機の制御および交換機との間で制御信号の送受を行う電話機制御部と、この電話機制御部に接続され通話度数または通話料金の計測を行う計測器とを備えた通話度数表示機能付電話機において、時刻情報を出力する時計手段と、この時計手段の時刻情報に基づき通話料金の割引きのある時間帯における前記計測器の出力を月単位に加算する度数加算器とを備え、前記表示部はこの度数加算器の出力を表示する手段を含むことを特徴とする通話度数表示機能付電話機。

【請求項2】 前記度数加算器は、初期化時に通話度数をリセットするリセットスイッチと、通話度数を月変わりに自動的にリセットする手段とを含む請求項1記載の通話度数表示機能付電話機。

【請求項3】 前記表示部は操作により月極割引サービスの基準通話度数および対象限度を表示する手段を含む請求項1記載の通話度数表示機能付電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、通話度数表示機能付電話機に利用する。特に、通話料金の割引きのある時間帯における月極割引サービス（NTTの通話料金割引サービス「テレジョーズ」）の対象となる通話度数表示機能付電話機に利用する。特に、通話料金の割引きのある時間帯における通話度数を月単位に表示する通話度数表示機能付電話機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、通話度数表示機能付電話機は、通話度数計測機能として通話単位の度数計測を対象とした構成のものであった（特開昭57-25763号公報、特開昭61-35057号公報、特開昭64-46369号公報）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような従来の通話度数表示機能付電話機では、通話単位の度数計測をするものであり、通話料金の割引きのある時間帯における月単位の通話度数を計測し表示するものではないので、通話料金の割引きのある時間帯に対して月極割引サービスのある場合に使用する際にはこのサービスを有効的に利用できない問題点があった。

【0004】本発明は前記の問題点を解決するもので、通話料金の割引きのある時間帯に対する月極割引サービスを有効に利用できる通話度数表示機能付電話機を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、電話機の制御および交換機との間で制御信号の送受を行う電話機制御部と、この電話機制御部に接続され通話度数または通話料金の計測を行う計測器とを備えた通話度数表示機能付電話機において、時刻情報を出力する時計手段と、この

時計手段の時刻情報に基づき通話料金の割引きのある時間帯における前記計測器の出力を月単位に加算する度数加算器とを備え、前記表示部はこの度数加算器の出力を表示する手段を含むことを特徴とする。

【0006】また、本発明は、前記度数加算器は、初期化時に通話度数をリセットするリセットスイッチと、通話度数を月変わりに自動的にリセットする手段とを含むことができる。

10 【0007】さらに、本発明は、前記表示部は操作により月極割引サービスの基準通話度数および対象限度を表示する手段を含むことができる。

【0008】

【作用】時刻情報により通話料金の割引きのある時間帯の間だけ通話度数を加算し、その加算した通話度数を月変わりに自動的にリセットし、「0」から始めて月終わりまで加算した値を表示するので、使用した通話度数がわかり通話料金の割引きのある時間帯に対する月極割引サービスを有効に利用できる。また、月極割引サービスの基準通話度数および対象限度を表示してあるので使用状態を確認するのに効果的である。

【0009】

【実施例】本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0010】図1は本発明一実施例通話度数表示機能付電話機のブロック構成図である。図1において、通話度数表示機能付電話機は、電話機の制御および交換機との間で制御信号の送受を行う電話機制御部1と、電話機制御部1に接続され通話度数または通話料金の計測を行う計測器2と、その計測内容の表示を行う表示部4と、中央制御装置6と、メモリ7と、計測器2、中央制御装置6およびメモリ7を接続するアドレスデータバス10とを備える。

【0011】ここで本発明の特徴とするところは、時刻情報を出力する時計手段5と、時計手段5の時刻情報に基づき通話料金の割引きのある時間帯における計測器2の出力を月単位に加算する度数加算器3とを備え、表示部4は度数加算器3の出力を表示する手段を含むことを特徴とする。

40 【0012】また、度数加算器3は、初期化時に通話度数をリセットするリセットスイッチ31と、通話度数を月変わりに自動的にリセットする手段とを含む。

【0013】さらに、表示部4は操作により月極割引サービスの基準通話度数および対象限度を表示する手段としてセットスイッチ41を含む。

【0014】このような構成の通話度数表示機能付電話機の動作について説明する。

【0015】図2は本発明の通話度数表示機能付電話機の表示部の表示内容を示す図である。図3は本発明の通話度数表示機能付電話機の度数加算器の動作を示すフローチャートである。図2において、表示部4は加算した

3

通話度数(ここでは、100)を表示し、またセットスイッチ41により月極割引サービスの基準通話度数(ここでは、200)および対象限度(ここでは、300)を表示する。これにより使用状態を確認することでき、月極割引サービスを有効に利用できる。

【0016】図3において、度数加算器3の動作について説明する。まず、度数加算器3はリセットスイッチ31で通話度数がリセットされる(S1)。月極割引サービスの対象中の場合には(S2)、通話が開始され(S3)、通話料金の割引きのある時間帯の場合には(S4)、通話度数の加算を開始し(S5)、加算した通話度数は表示部4に表示される。通話料金の割引きのある時間帯の状態で(S4)、通話度数を加算中に(S5)、月変わりがなく(S11)、通話が終了したときには(S6)、通話度数の加算を終了しステップ2に戻る(S7)。また、通話料金の割引きのある時間帯の状態(S4)で、通話度数を加算中に(S5)、月変わりのときには(S11)、通話度数をリセットし(S12)、通話度数の加算を再び開始し(S5)、通話が終了したときには(S6)、通話度数の加算を終了しステップ2に戻る(S7)。

【0017】ステップS4において、通話が開始されても通話料金の割引きのある時間帯でなく、月変わりでないときには(S11)、通話度数の加算はせず通話が終了するとステップS2に戻る(S10)。また、通話が開始されても通話料金の割引きのある時間帯でなく、月変わりになると(S11)、通話度数をリセットし(S12)、通話度数の加算はせず通話が終了するとステップS2に戻る(S10)。さらに、ステップS4において、始めに通話料金の割引きのある時間帯で通話中に通話料金の割引きのある時間帯でなくなったときには通話度数の加算をせず、また、始めに通話料金の割引きのある時間帯でなく通話中に通話料金の割引きのある時間帯

4

になったときには加算を開始する。

【0018】ステップS3において、通話が開始されず、月変わりでないときには(S8)、引き続き通話が開始されるのを待つ(S3)。待機中に月変わりになると(S8)、通話度数をリセットし(S9)、月極割引サービスの対象中のときには(S2)、通話が開始されるのを待つ(S2)。月極割引サービスの対象中でなくなったときには(S2)、処理を終了する。

【0019】

10 【発明の効果】以上説明したように、本発明は、通話料金の割引きのある時間帯に対する月極割引サービスを有効に利用できる優れた効果がある。したがって、月極割引サービスの基準度数を大幅に下回ることおよび月極割引サービスの対象限度を上回ったために通常料金が課金されることを防止することができる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明一実施例通話度数表示機能付電話機のブロック構成図。

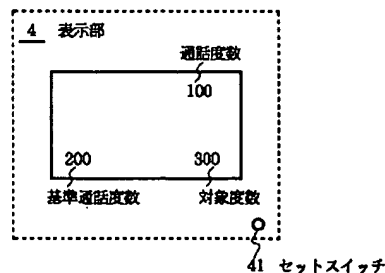
【図2】本発明の通話度数表示機能付電話機の表示部の表示内容を示す図。

【図3】本発明の通話度数表示機能付電話機の度数加算器の動作を示すフローチャート。

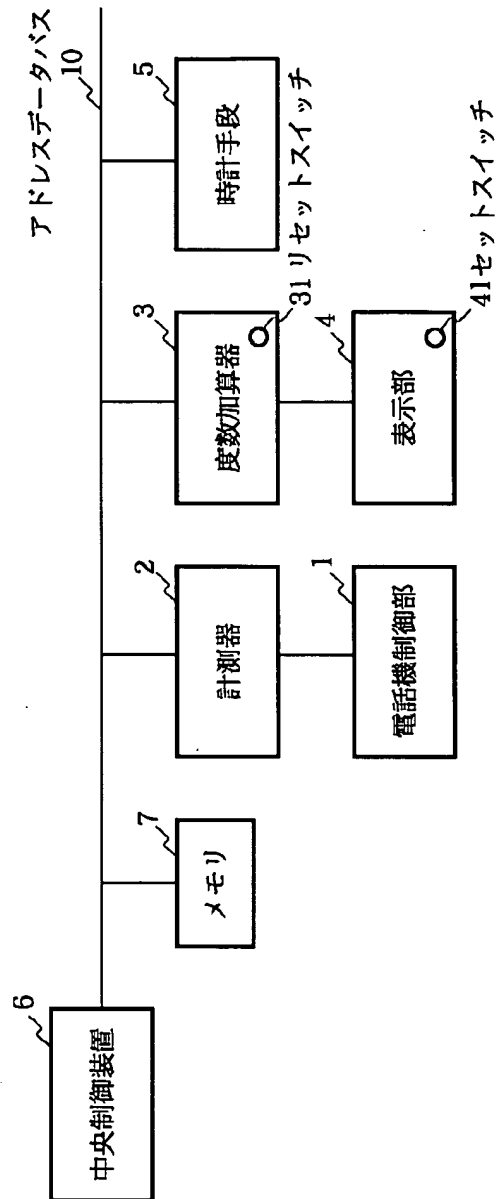
【符号の説明】

- 1 電話機制御部
- 2 計測器
- 3 度数加算器
- 4 表示部
- 5 時計手段
- 6 中央制御装置
- 7 メモリ
- 10 アドレスデータバス
- 31 リセットスイッチ
- 41 セットスイッチ

【図2】



【図1】



【図3】

